

平成30年度 第11回未来ビジョン会議 要点記録

- 1 開催日時 平成31年3月19日（火）午後7時から午後8時
- 2 開催場所 伊東ふれあいセンター 3階 多目的ホール
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員13人（欠席5人）
市長、佐野副市長、教育長、市長戦略監、事務局（行政経営課長、行政経営課長補佐、行政経営課主査、行政経営課主事）
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長挨拶
 - (3) 進行説明
 - (4) 意見交換
 - (5) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 開会

【行政経営課長から開会】
（欠席者報告）

(2) 市長挨拶

【市長】

皆さんこんばんは。本日で今年度最後の未来ビジョン会議になります。

今年度、委員の皆様には、図書館・文化ホール建設の方向性、にぎわい演出、フォトスポット事業について御意見をいただきました。

どの内容も、本市の未来を拓くために重要な取り組みであり、いただいた御意見につきましては、今後、施策に反映できるものは反映してまいりたいと思います。

本日は、皆様から今年度の振り返りの意味を込めて、感想や今後の進め方などの本会議に対する御意見を伺いたいと思います。

皆様の御意見を伺いながら、さらによりよい会議へと成長させていきたいと考えておりますので、本日も忌憚のない御意見をお願いします。

(3) 進行説明

【行政経営課長から本会議の進行について説明】

(4) 意見交換

【市長】

それでは発表を行っていただきます。

本日は感想や意見を伺いたいと考えております。スムーズに進行したいため、1人5分以内で発表をお願いします。

A委員からお願いします。

【A委員】

未来ビジョン会議委員として2年間経過し、とても良い経験をさせていただきました。当初は手も震え、何を話せばよいか戸惑ったことを覚えています。

様々な団体の方と、議論することで多様な意見があることがわかりました。

よく比較される熱海に盛り上がっている会議があると聞いており、実際には参加したことはありませんが、移住者の方が主導で開催しているようです。見た目には華やかで何か変わったように感じますが、実際に昔から熱海に住んでいる方々がどのように感じて参加しているのかなとクエッションマークがついてしまいます。

この会議に参加し、伊東を愛している方々の思いと、若い方々がどのように今後伊東に住み続けていくのか真剣に考える機会となりました。

私は子育て支援を行っているNPOから選出されておりますので、子育て支援についてお話すると、最近では子育て施策が充実し、埼玉から移住してきた方が埼玉より充実していると言っておりました。その方が第1子の子育てを本市で行っておまして、今後2人、3人と子どもを産みたいかという話になると、家族で遊べる屋外の施設はあるけど、お金の掛からない屋内の施設が限られてしまい、長泉町の「パルながいずみ」みたいな施設があれば子育てがしやすくなると言っておりました。本市は、子育て支援センターはありますが、未就学児の子どもしか利用できないという、昔からの壁がありますので、少子化の突破口として就学児でも利用できるという、長年の慣習をなくすチャレンジをしてもらい、子育てしやすい町として環境整備をしてもらおうと移住者が増えると思います。

また、図書館・文化ホール建設について、委員の皆さんと話す機会がとてもよい経験になりました。徹底的に議論し、意見をまとめましたので、ぜひ図書館・文化ホールについて進めていただきたいと思います。伊東はポテンシャルがある町だと思いますので、伊東が本来持っているすばらしいところを掘り起こし、外部の意見を取り入れながら、伊東の良いところを再発見していくことで、今後さらに発展し、来ていただいた皆さんがほっとするような観光地になってもらえれば良いなと思いました。

【市長】

子育ての関係の御意見や図書館・文化ホール建設についても大きな期待をいただいていることを承知しておりますので、進めていきたいと考えております。委員が満了しても引き続き御意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

【B委員】

今期は、ほとんどグループワークにより会議が実施され、多くの意見を聞くことができてとてもよかったですのですが、委員の皆さんはそれぞれの立場があり、それぞれの課題やテーマがあると思いますので、個別に熱く語るコーナーがあっても良いのかなと思いました。

【市長】

個人で意見を言う場合は、緊張してしまうこともあるかと思いますが、今後の参考にさせていただきます。

【C委員】

今年度は昨年度より具体的なテーマでグループワークを行ったことや、そのようなテーマ設定についても、とてもわかりやすく良かったと思います。しかしその反面、未来ビジョン会議という名前がついている会議ですので、本当にこの伊東市の未来のビジョンとして10年後、20年後にどのような町になってほしいのか、そのためには今の我々にどのようなことができるのか、という長期的な視点、具体的にどのような方法でというのは難しいですが、生まれ育った伊東のことを考え、なにせこの町が今後良い形であり続けてくれれば良いと思っております。もっと先の話しをしてみるのもこの町のためになるのではないかと考えました。ありがとうございました。

【市長】

30年後のこの町の姿を具現化していければ良いなと考えておりますので、参考とさせていただきます。ありがとうございました。

【D委員】

1期より2期目のグループワークの方が多様な意見を聞くことができ、自分のためにもなったと感じました。与えられたテーマではなく、委員の中からテーマを決めるのも良いのかなと思いました。また、意見をぶつけ合うことができたら良いとも思いました。人と話すことが少ない仕事をしているので、少しは話すことができるようになったのかなと思います。ありがとうございました。

【市長】

D委員がいてくれたおかげで大変参考になったこともあります。ぜひ、次の委員に意思を引き継いでいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【E委員】

今年はグループディスカッションが多かったので、もっと個人の意見を聞く方が議題に対してたくさんの意見が聞けると思いました。インスタのテーマは流行りに遅れていると感じました。もっと市民全体に伊東に何が必要かということ聞いた方が良いと思っておりますし、伊東に大切なものを抽出し細分化して、市民の意見を聞いて事業などを行っているということで、市民からの理解も得られると思っております。

【市長】

市民の意見を聞く機会としてタウンミーティング等を行っていますが、大勢の前で意見を言うことができない方がいるかと思っておりますので、そのような方の意見を聞く機会を別に設けたいと考えておりますので、参考にさせていただきます。

【F委員】

1年間、テーマを決め市長と意見交換をする機会を始めて体験させてもらい、とてもいい経験になったと思います。ディスカッション形式で意見を出し、その中で実現可能なものを実現していくということで、夢のある会議だと思いました。

私の選出団体は青少年の育成を非常に大事にしております、30代40代が集まって、今年はどうしようかという議論を交わすのも良いのですが、10年後、20年後の未来のビジョンを考えながら行えればと思いました。そして、これが全員高校生だったらどうかと思いました。今の高校生は私たちの高校生のときより、もちろん市長が高校生のときよりも比べ物にならないくらい情報量が多く、自分たちよりも多く様々なことを考えている子達がいるので、未来ビジョン会議という形で行い、そこで出た意見を揉んで、実現するところまで出来たら、すごく良いなと思いました。

【市長】

高校生版未来ビジョン会議はとても面白いと思います。高校生タウンミーティングを行っておりますが、高校の先生とも、また新しい企画を行いましょうと話しましたので取り組みたいと思います。

【G委員】

1年間ありがとうございました。実は今日伊東の未来は岐路に立たされていると感じました。私は仕事で人事を担当しており、品川で伊豆インターン・Iターン・Uターンの採用説明会がありました。学生の来場者数自体も少なかったのですが、説明を聞きに来た学生の多くが前市長の裁判を気にしており、中には伊東出身ですがそんな町には戻りたくないとはっきり言った学生もいました。私はそんなことを言われると思っていなくて、ハッとしてしまいました。その学生は採用したいと思ったほど優秀でして、伊東出身の優秀な学生ほど伊東を見限っており、底辺の状態にあると感じました。この危機を乗り越えなければ伊東に未来はないと痛感しました。起きてしまったことはもう仕方がないので、どのように信頼を回復していくかということが問われていると思います。未来ビジョン会議という未来を語る会議がありますので、次年度は自分達がどういう町にしたいのか、今どういう課題があるのか、本当のボトムアップ形式で議案を出して、議論をして提案をしていくスタイルにした方が良いと思います。私は伊東が大好きですので、ぜひ伊東の危機的な状況を一緒に打破していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

【市長】

お仕事とは言え、直に学生と対面してそのような文言がでるということは、どうにもしようがないのですが、改めて襟を正していかないといけないと思います。前向きな考えでこれからも協力お願いします。

【H委員】

未来ビジョン会議に参加し多くの委員の方と意見を交換することができて、とても勉強になりました。今回は5人から6人のグループワークが多かったのですが、少し人数を減らして2人から3人のグループワークが出来れば、もっと多くの意見交換ができると感じました。

東海館をテーマに意見交換する機会があり、景観等を気にして仕事を行っているため、多くの方の意見を聞くことができ、自分の仕事上でもとても勉強になりました。

市役所でこのような会議に出席できることは貴重な機会ですので、ぜひ多くの方と意見交換を行いたいと思います。

【市長】

この会議に出てくる市役所の職員は将来有望な方が多いので、ぜひ委員の皆さんとコミュニケーションを図り、本市のために今後もよろしく願います。

【I 委員】

初めは不安でしたが、いざ始まると伊東市の未来について自由に意見を言うことや考える事ができ、そして市長等に直に聞いてもらえる環境が本当にありがたいと感じました。

会議の中で学んだことを学校の事業で取り入れたり、本校の生徒とタウンミーティングを行ったりと縁というのも経験になったと感じています。

未来について考えることも大事ですが、改めて伊東市の現状や課題を確認し、それに対してどのように改善していくかを考えていくことも良いと思います。

議論を行うのは委員の我々ですが、各団体の中での意見を集約して意見することにより多くの市民の声が反映されるのではないかと思います。

【市長】

以前、伊東商業高校の生徒達と話をしたときにも感じましたが、本市において伊東商業だけが定員超えをしており、日ごろ行っているカリキュラムを大勢の方が評価している結果であると考えています。今では伊東商業高校から6割くらいが進学をしており、伊東商業高校で学んだ専門的な教育、基礎学力及び全国でも表彰を受けている点も踏まえ、これからも自信を持って協力をお願いしたいと思っています。

また、委員からも意見のあった高校生との未来ビジョン会議を実施できた場合、ご協力をお願いいたします。

【J 委員】

未来ビジョン会議をとおして、伊東市がどのような事業を行っているか、また、どのような事業に力を入れたいかを知ることができたことが良かった点です。

私は市の職員ですが、皆さんと一緒に伊東市を外から見ることができ、特色や課題を考えることができたので、とても良い経験になりました。

グループワークについては、今後議論をする上でテーマにおける提案の方向性ごとにグループを組めたら、より良い提案が出せると感じました。

【市長】

方向性ごとのグループ分けについては、今年度は具体的なテーマを決めて議論をしていただきましたので、委員から提案のありました30年後の伊東市又は10年後の伊東などを議題のテーマとして、幅を広げていく中でそのように進めていきたいと思えます。

【K委員】

他の委員の方からもありましたが、グループワークの方法について、各委員の専門性を利用して行う方が良いと感じました。例えば、3つのグループごとにそれぞれテーマを設け、専門性のある委員をそれぞれのグループに入れて議論を行う。

大きなテーマの際には、グループワークだけでなく、個々の意見を聞くことができたら良いと感じました。

【市長】

専門性を持つ委員をうまく活用するというはその通りだと思います。

例えば、各グループに市役所の職員を1人参加させるという方法もできると思いますが、より具体的な提案ができるような環境整備を行っていきます。

【L委員】

1年目の方がスムーズに入れた気がしました。2年目は求められるものも高くなった気がしました。それぞれのテーマがある中で、見える化ができた方が良いと感じました。子育ての冊子など、皆さんの意見がすぐさま市の事業として展開していく、そして、委員の皆様の日にも見えてくるのが素晴らしいと感じました。

私は市の職員として11年経過しましたが、このような会議に出席する機会は本当に少ないです。私の課に関するテーマもあり、実直な意見をいただくことができ業務においても参考になりました。

【市長】

1年目の子育てアプリは見事に形にすることができました。図書館・文化ホールに関しても無駄を無駄にしないよう、将来できあがったときに私達が作ったと言ってもらえるようなものにしたいです。

【M委員】

このような委員を行うことが始めてでして、団体や年齢層も異なり、幅広く意見を聞くことができたことが楽しくて、また勉強になりました。

進行については、今年はグループワークが中心でしたが、グループにおいて提案に繋がらないけど、良い意見がたくさんありますので、それらの意見を拾うような手立てがあると良いと思います。

テーマについては、広報いとうを利用し、市民から返信ハガキ等により募集すると良いのではないのでしょうか。

【市長】

グループワークについて、発表するだけでなく過程についても重要であると考えますので、文章で残すことで確認できるようにしたいと感じました。

広報いとうについても、この会議はとても重要ですので、何らかの形で募集をしたいと思っています。

皆様ご意見ありがとうございました。

これにて、今年度の未来ビジョン会議を終了とさせていただきます。活発かつ率直な意見を頂戴することができ、誠にありがとうございました。いただいた意見を踏まえて、今後の未来ビジョン会議運営の参考とさせていただきます。

委員の皆様からの意見を聞いて、副市長、教育長等お願いします。

【佐野副市長】

感想を述べさせていただきます。今年度はグループワークが多く皆様とお会いする機会が減ってしまったことは寂しく感じておりました。

市外から来た者として、若い方々と意見交換をする場がありませんので、貴重な情報をいただき、ありがたいと感じました。

今後、限られた時間の中で皆様の率直な意見を反映させていくために、会議の方法を考えていかなければいけないと感じました。特にグループワークで皆様に提案してもらい、それに対して行政が評価するということで、もう少し突っ込んで議論をして、未来ビジョン会議として意見をまとめることができれば良いなと思いました。

今後ともよろしくお願いします。

【教育長】

私は未来ビジョン会議に参加することがとても楽しみで、また様々なことを学ぶことができました。その中で、皆様が伊東をなんとかして行かなければいけないという伊東を思う強い気持ちが伝わり、とても心強く感じましたし、期待もしております。

これからもこのような会議の場があると思いますが、皆様一人一人の良さを発揮し自由に伊東に対する思いを語っていただければと思います。その意見や思いを施策や教育に反映できるよう私たちも努力をしていかなければ行けないと感じました。

【市長戦略監】

市長の公約事業でありますこの未来ビジョン会議は、1年目を手探りの状態で始め、2年目をどのように進めていこうかと悩み、皆様からいただいた意見を参考にしながら進めてきました。

今日皆様から意見を伺い、本当はもっと厳しい意見を言われるかなと覚悟してきました。しかし、このような場ですのではなかなか厳しい意見は出なかったのかなと思います。個人的にですが、今年度で委員を満了する方も市に対し直接意見を言ってください。直接言われることで、批判やクレームはこれからの伊東市を変えていくための宝となります。

この2年間、事務局主導で進めてきましたが、皆様から意見を伺う中で委員主導により会議を行っていくことも考えていきたいと思っておりますし、ブレインストーミングのように皆様が意見をどんどん出し合うような形式も考えていきたいと思っております。

限られた1年間のうち、提案を事前に文書でいただいたり、時間を有効に使っていただけるように皆様の意見を反映しながら取り組んでいきたいと思っております。

来年度の未来ビジョン会議を開催するにあたり、委員の皆様からも新しい委員に未来ビジョン会議の雰囲気やどのような議論が行われたのか、情報を共有していただきたいと思います。市長も常々言っておりますが、30年後の伊東市を見据えた意見交換など、今後ともよろしくお願いします。

(5) 閉会

【市長】

この場でいただいた意見は私の政策アイデアの宝箱だと思っておりますし、反映できるように努めていきたいと思っております。

本日で委員を満了する方も、私に意見がありましたら遠慮なく直接申し伝えてください。よろしくお願いいたします。

【事務局よりアンケート記入依頼】

以 上